

**第77回<令和6年度・2024年度> 通常総会
式次第および議案**

一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

日 時 2024年 6月10日 (月) 午後2時 ~

会 場 THE GRAND GINZA ・ GINZA SIX 13F <中央区銀座6-10-1>

第77回通常総会 午後2時00分 ~ 2時20分 The GRAND VIP

会長挨拶

第一号議案 報告承認に関する件

令和5年度一般会務ならびに事業報告

令和5年度決算ならびに監査報告

第二号議案 審議に関する件

令和6年度事業計画案

令和6年度予算案

第三号議案 選挙管理委員会報告

令和6年~7年度任期 代議員

第四号議案 役員選出の件

令和6年~9年度任期 監事

令和6年~7年度任期 理事

第1回定例理事会 午後2時30分 ~ 2時50分 THE GRAND VIP

懇親パーティ 午後3時00分 ~ 5時00分 THE GRAND GALLERY

第77回通常総会議案

<2024年6月10日>

一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

第1号議案

令和5年（2023年）度一般会務報告

（2023年6月1日より2024年5月31日まで）

[1] 総会事項

第76回通常総会は、令和5年6月7日にTHE GRAND GINZAにて開催された。令和4年度事業報告および収支決算書並びに、令和5年度事業計画および収支予算の件が議せられ承認された。総会に引き続き、第1回定例理事会が開催され、会長、専務理事、常任理事の選任が行われた。

◆会長：清原克明◆副会長：星野智彦◆監事：中山正久/志村 晶

◆専務理事：島岡唯信◆常任理事：大谷朋之/大沼雄次/岡部俊一/川瀬 功/小島敏裕/田中圭介/堀之丸乃弘 /松林正和

[2] 総会終了に伴う届出事項

理事改選による、新任・退任者氏名等の法務局への登記事項は、令和5年6月16日完了。

[3] 令和5年度において、協会運営のため開催された一般会議

総会	1回（6月7日開催）
理事会	6回（ハイブリッド開催）
代議員懇談会	1回（リモート開催）
事業・顕彰担当理事会	2回（リモート開催）
監事による会計監査	2回（10月27日 / 5月23日）
選挙管理委員会	2回 本部（2月6日リモート開催 / 4月22日（書面確認））
代議員候補者推薦委員会	1回 本部（2月15日リモート開催）、各支部 各1回
役員候補者推薦委員会	1回 本部（2月15日リモート開催）

令和5年（2023年）度事業報告

（2023年6月1日より2024年5月31日まで）

【事業1】映画及びテレビジョンの技術に関する調査研究

(1) ISO/TC36 国内協議会

国際標準化機構 (ISO) / TC36 (映画分野に係る国際規格の制定等専門委員会) 国内協議会の事務局を担当。「ISO/TC36 国内協議会」を開催 (6回) し、国際規格の制定・改訂・廃止等の審議を行い、その結果を投票した。

3月25～26日 (欧州標準時) リモートにて開催された国際会議に委員1名が参加した。

(2) 規格委員会

今年度は新たな規格提案が無かった為、会議開催を見合わせた。

【事業2】映画及びテレビジョンの技術に関する普及啓発

(1) 各部会による研究会の開催

①映像プロセス部会

・運営委員会 (案件別リモート開催)

・映像プロセス部会第57回特別セミナー

テーマ：映像制作プロセスの脱炭素化

～ バーチャルプロダクションとカリキュレーターの活用 ～

日 時：2024年2月7日 (水)

場 所：Hibino VFX Studio

②アニメーション部会

- ・運営委員会（案件別リモート開催）
- ・映像技術賞のエントリー普及及び審査員推薦活動
- ・第24回アニメーション部会特別研究会
日 時：2023年11月24日～25日
場 所：越後湯沢ホテルニューオータニ

(2) MPTE勉強会

理事会、各部会の協力のもと、協会が時代に添った活動をするを目的に、個人会員、法人会員のメリットとなるタイムリーなテーマで企画している。

MPTE 第60回勉強会

テ ー マ：エンタメ業界における最適な契約業務とは
～IP活用におけるリスク回避術～
日 時：2023年10月12日（木） 15:00～16:00
開催方法：Microsoft Teams を使用
会 費：無料
参 加 者：25名

MPTE 第61回勉強会

テ ー マ：朋栄製クラウドコンソールCeacaa
～クラウド環境下に於ける実用的なコンテンツ制作の実現～
日 時：2023年10月25日（水） 15:00～16:30
会 場：株式会社 朋栄
会 費：会員；無料 非会員；2,000円
参 加 者：26名

MPTE 第62回勉強会

テ ー マ：エンタメ業界の人と企業をつなぐ【Backstage】の紹介
～外注スタッフ（職人）と職人を求める企業をつなぐ
ワーキングプラットフォーム～
日 時：2024年5月29日（木） 15:00～16:00
開催方法：Microsoft Teams によるリモート開催
会 費：無料
参 加 者：30名

(3) 基礎技術セミナー

新人研修の一環として、及び映像制作現場で活躍されるエンジニアの方々、これから映像業界を目指す学生さん、長年映像制作に携わっておられる技術者の方々に、基礎に戻る機会として企画している。

第7回基礎技術セミナー（大阪支部開催）

日 時：2023年12月6日（水）
会 場：毎日放送 ちゃプラスステージ
会 費：会員；無料 非会員；2,000円
参 加 者：102名
講義内容：①ロードレース中継～VE担当の視点から～
②報道カメラマンの基礎～現場で何を考える？ 機材最新動向は？～
③リモートプロダクションを活用した簡易中継を通して IP の便利さを知ろう
④ドラマ映像技術の仕事 ～ルック作成のプロセスに沿って～

第7回基礎技術セミナー（本部）

日 時：2024年2月21日（水）

開催方法：株式会社千代田ビデオ内テレビスタジオ

会 費：個人会員；無料、法人会員；2,000円、非会員；4,000円、学生；無料

参加者：75名

講義内容：① ENGの基礎

② VEの仕事について

③ 伝送技術について

④ テレビ音声の仕事について

⑤ 照明技術の基礎について

（4）講師派遣セミナー

企業向けオーダーメイドのセミナー。テーマや講師の人選等を含め、各企業の要望に添ったセミナー開催を目的に企画している。

（5）地方支部活動の支援

各支部の上映会、勉強会等開催への支援を行った。

（6）普及活動

①総会記念パーティ

日 時：2023年6月7日（水）15:00～17:00

会 場：GINZA SIX 13F 『THE GRAND GINZA』

②新年名刺交換会

コロナ感染の影響を考慮し中止

③ホームページで協会（支部を含め）の行事予告・報告等により広報活動を活性化した。

④個人会員向け「会員マイページ」を利用し、双方向の情報共有を推進した。

（7）各支部の活動

①京都支部：幹事会6回開催

4月度：4月11日 @松竹京都撮影所

5月度：休会

6月度：6月13日 @松竹京都撮影所

7月度：休会

8月度：メール連絡

9月度：9月12日 @松竹京都撮影所

10月度：メール連絡

11月度：休会

12月度：12月12日 @松竹京都撮影所

1月度：1月16日 年始総会&懇親会

2月度：2月13日 @松竹京都撮影所

3月度：3月12日 @松竹京都撮影所

- ・京都支部および大阪支部共催「MPTE AWARDS2023 映像技術賞受賞作品を見る会&トークイベント」諸事情により開催見送り

②大阪支部：幹事会 8 回開催（リアル/リモート）

①4/26、②6/6、③7/20、④9/14、⑤11/9、⑥12/13、⑦2/7、⑧3/21

- ・朝日放送テレビ N サブ+関西テレビ音声中継車合同見学会
開催日：2023 年 7 月 3 日
参加者：支部幹事会メンバーを中心に約 40 名
- ・関西放送機器展 日本映画テレビ技術協会 PRESENTS 特別講演
開催日：2023 年 7 月 13 日（木）
会 場：大阪南港 ATC ホール
テーマ：①「キヤノン ボリュメトリックビデオシステム」
②パネルディスカッション：「放送設備の IP 化～現在地と未来予想図を
ユーザーが思う課題とメーカーの提案を交えて」
 - ・会場内に「映テレブース」を展開
- ・第 7 回基礎技術セミナー（大阪支部開催）
日 時：2023 年 12 月 6 日（水）
会 場：毎日放送 ちゃプラスステージ
会 費：会員；無料 非会員；2,000 円
参 加 者：102 名
講義内容：
 - ①ロードレース中継～VE 担当の視点から～
 - ②報道カメラマンの基礎～現場で何を考える？ 機材最新動向は？～
 - ③リモートプロダクションを活用し 簡易中継を通して IP の便利さを知ろう
 - ④ドラマ映像技術の仕事 ～ルック作成のプロセスに沿って～
- ・「大阪支部総会・名刺交換会」4 年振りの開催
開 催 日：2024 年 1 月 9 日（火）
開催場所：中央電気倶楽部
参加者数：50 社 134 名（内、非会員 21 名）
- ・大阪支部および京都支部共催「MPTE AWARDS2023 映像技術賞受賞作品を見る会&ト
ークイベント」諸事情により開催見送り

③中部支部：幹事会 2 回開催 ①6/26、②9/12

- ・勉強会
テーマ：生成 AI の可能性～Microsoft の AI と活用事例
日 時：2023 年 11 月 9 日（木）13:00～14:00
開催場所：中京テレビ本社
- ・テレビ/映像最新技術展 in 名古屋 2023
開催日：2023 年 12 月 7 日（木）～8 日（金）
会 場：中京テレビプラザ C
来場者：2 日間で 283 名

④北海道支部：幹事会 7 回

①4/14（千里）②6/2（千里）③8/10（NHK）④9/29（千里）
⑤9/1（千里）⑥ 10/20（千里）⑦ 1/19（HELP）

- ・2023「キタ・ドキュメント」作品上映会
開催日：2023 年 9 月 17 日（日）

会 場：かでの 2・7

- ・第 29 回 北海道映像コンクール
開催日：2023 年 11 月 25 日(土)
会 場：HBC フレックス会議室
- ・支部総会
開催日：2024 年 1 月 19 日(金)
- ・第 29 回 北海道映像コンクール表彰式/上映会
開催日：2024 年 2 月 3 日(土)
開催場所：シアターカフェ

⑤九州支部：九州放送機器展セミナー

開催日：2023 年 7 月 19 日(水) 15:00～16:30

会 場：福岡国際センター

テーマ：AWS/Sony/NetApp で実現するクラウド制作ワークフロー

- ・支部総会 書面開催
開催日：2024 年 4 月 1 日

⑥東北支部：支部幹事会 2 回(2023 年 9 月 6 日、2024 年 2 月 26 日)

- ・春の映像セミナー

日 時：2023 年 6 月 1 日(木) 11:00～

場 所：仙台国際センター展示棟

テーマ：第 73 回 NHK 紅白歌合戦の舞台裏

- ・秋の映像セミナー開催

開催日時：2023 年 11 月 5 日(日) 13:00～17:00

開催場所：学校法人日本コンピューター学園 東北電子専門学校視聴覚ホール
(Teams ウェビナー同時開催)

参加人数：学生含む 68 名ほど オンライン参加者：最大 7 名

講演内容：第一部 13:05～13:50 頃まで

座談会「それって、今、面白いですか？」

第二部 14:00 頃～14:45 頃まで

講座「音屋として外せないものがある」

第三部 14:50 頃～16:30 頃まで

講座「リアルであること・・・ドキュメンタリー撮影の心得」

- ・東北写真記者協会「日本映画テレビ技術協会賞」の審査

開 催 日：2023 年 12 月 7 日(木)

- ・東北写真記者協会「日本映画テレビ技術協会賞」の表彰式

開 催 日：2023 年 12 月 22 日(金)

- ・映テレ東北支部ミニセミナー

開 催 日：2024 年 3 月 24 日(日)

開催場所：KHB ぐりりホール

テ ー マ：第一ラウンド 13:30～15:00 頃まで

「それぞれの作品から学ぶ・カメラマンマインドの形」

第二ラウンド 15:15 頃～17:00 頃まで

「座談会：若者たちの本音と、これからのこと」

【事業3】映画及びテレビジョンの技術に関する出版物の発行

- (1) 業界関係者及び一般向けに販売・配布している月刊機関誌「映画テレビ技術」の発行。
毎月1日の月刊発行を行った。
- (2) 業界関係者及び一般大学（映像学科系）、専門学校のカリキュラム資料として活用されている「PROFESSIONAL CINE & TV TECHNICAL MANUAL 2023/2024」（技術手帳）の拡販。
- (3) その他単行本の販売。

【事業4】映画及びテレビジョンの技術に関する研究業績及び技術成果の表彰

研究業績及び技術成果の表彰を75年に亘り行ってきた。本年度も例年通り、経産省が推進する「CoFesta2023」へのパートナーイベントとして、また東京国際映画祭の一環として開催した。

(1) MPTE AWARDS 2023 第76回 表彰式

開催日：2023年11月01日（水）

会場：東京国際フォーラム・ホールD5

会費：無料

参加者：115名

以下4件の表彰を行った。

- ① 第76回 技術開発賞
- ② 第76回 映像技術賞
- ③ 第41回 青い翼大賞（学生作品の映像技術賞）
- ④ 第26回 日本映画テレビ技術大賞（経済産業大臣賞）

【その他】本会の目的を達成するための事業

- (1) 映画産業団体連合会の維持会員として「映画の日」の行事等に協力した。
- (2) 映像関連団体事務局連絡会議に参加し、関連団体との情報交換等を行った。
- (3) 映画産業団体連合会理事会にオブザーバーとして参加、および事務局長連絡会議に参加し、情報交換を行った。
- (4) 「映像文化製作者連盟」「日本映画監督協会」「日本映画撮影監督協会」「日本映画・テレビ照明協会」「日本映画・テレビ録音協会」「日本映画・テレビ編集協会」「日本映画・テレビ美術監督協会」「テレビ日本美術家協会」「全日本テレビ番組製作社連盟」「日本映像ソフト協会」「日本ポストプロダクション協会」「日本アド・コンテンツ制作協会」等各団体との相互協力を行った。
- (5) 日本アカデミー賞、東京国際映画祭、東京シネマショー、すかがわ国際短編映画祭等の運営に協力した。

以上

会 員 数 現 況

2024.3.31.現在

正 会 員		学生会員	名誉会員	(相)	合計
法人会員	個人会員				
156	729	4	3	(1)	892

個人会員	本部	京都	大阪	中部	北海道	九州	東北	海外
内 訳	540	27	71	26	25	20	18	2

様式 1

貸借対照表

令和 6年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	46,051,761	44,728,826	1,322,935
未収会費	1,665,000	1,755,000	-90,000
未収入金	642,900	3,180,100	-2,537,200
前払費用	639,920	654,117	-14,197
立替金	409,826	552,351	-142,525
仮払金	0	0	0
貯蔵品	214,170	232,320	-18,150
商品	2,456,982	3,587,534	-1,130,552
流動資産合計	52,080,559	54,690,248	-2,609,689
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	0	0
郵便貯金	3,500,000	3,550,000	-50,000
基本財産合計	3,500,000	3,550,000	-50,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	7,175,675	19,126,505	-11,950,830
調査研究引当資産	0	0	0
特定資産合計	7,175,675	19,126,505	-11,950,830
(3) その他固定資産			
什器備品	403,142	832,812	-429,670
電話加入権	99,300	99,300	0
敷金	6,016,768	6,016,768	0
長期前払費用	0	0	0
無形固定資産	134,574	204,784	-70,210
その他の固定資産合計	6,653,784	7,153,664	-499,880
固定資産合計	17,329,459	29,830,169	-12,500,710
資産合計	69,410,018	84,520,417	-15,110,399
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,066,995	3,172,137	-1,105,142
前受金	3,695,750	4,685,000	-989,250
預り金	208,759	254,358	-45,599
仮受金	0	0	0
流動負債合計	5,971,504	8,111,495	-2,139,991
2. 固定負債			
退職給付引当金	7,175,675	19,126,505	-11,950,830
固定負債合計	7,175,675	19,126,505	-11,950,830
負債合計	13,147,179	27,238,000	-14,090,821
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
調査研究積立金	0	0	0
(うち今期の指定収支差額)	0	0	0
指定正味財産合計	0	875,437	-875,437
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	56,262,839	56,406,980	-144,141
正味財産合計	56,262,839	57,282,417	-1,019,578
負債及び正味財産合計	69,410,018	84,520,417	-15,110,399

様式2

正味財産増減計算書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	14	14	0
基本財産受取利息	14	14	0
② 特定資産運用益	141	173	-32
特定資産受取利息	141	173	-32
③ 受取入会金	163,000	117,000	46,000
入会金収入	163,000	117,000	46,000
④ 受取会費	43,760,000	45,532,250	-1,772,250
法人会員費	32,910,000	34,065,000	-1,155,000
個人会員費	10,180,000	11,467,250	-1,287,250
臨時会費	670,000	0	670,000
⑤ 事業収益	13,867,916	15,987,020	-2,119,104
調査研究事業収入	0	0	0
セミナー事業収入	2,544,000	1,633,000	911,000
部会事業収入	230,000	180,000	50,000
審査運営費収入	1,618,000	1,532,000	86,000
会員証発行収入	572,916	648,500	-75,584
広告収入	7,730,800	10,881,200	-3,150,400
出版販売収入	1,109,200	1,079,320	29,880
その他事業収入	63,000	33,000	30,000
⑥ 受取補助金等	0	0	0
⑦ 受取負担金	0	0	0
⑧ 受取寄付金	0	0	0
⑨ 雑収益	422	6,927	-6,505
受取利息	338	363	-25
雑収入	84	6,564	-6,480
⑩ 他会計からの繰入額	0	0	0
一般会計繰入額	0	0	0
他会計からの繰入	0	0	0
経常収益計	57,791,493	61,643,384	-3,851,891
(2) 経常費用			
① 事業費	15,501,047	14,949,396	551,651
調査研究事業費	43,670	20,000	23,670
セミナー事業費	1,499,798	1,138,278	361,520
各部会費	894,820	734,971	159,849
技術賞費	1,613,053	1,427,056	185,997
基金表彰費	66,759	33,000	33,759
海外技術交流費	0	0	0
その他表彰費	0	0	0
普及事業費	1,268,044	1,221,455	46,589
印刷製本費	7,247,987	5,738,184	1,509,803
原稿料	722,865	627,842	95,023
編集費	59,760	79,522	-19,762
発送他雑費	2,020,503	2,080,648	-60,145
単行本制作費	0	1,817,315	-1,817,315
その他事業費	63,788	31,125	32,663
② 管理費	43,310,024	45,191,598	-1,881,574
給料手当	24,268,750	25,848,621	-1,579,871
退職給付費用	1,071,270	1,578,496	-507,226
福利厚生費	3,898,934	4,172,432	-273,498
会議費	143,126	68,625	74,501

(単位：円)

科目	当 年 度	前 年 度	増 減
旅費交通費	948,864	826,602	122,262
通信運搬費	529,034	543,726	-14,692
消耗備品費	74,800	72,230	2,570
消耗品費	181,981	165,459	16,522
電気冷房費	311,933	265,321	46,612
賃借料	7,207,620	7,207,620	0
諸謝金	1,027,510	1,021,900	5,610
租税公課	833,355	924,764	-91,409
交際費	21,270	0	21,270
諸会費	384,500	213,000	171,500
会員証発行費	120,213	124,416	-4,203
減価償却費	499,880	433,160	66,720
雑費	1,786,984	1,725,226	61,758
貸倒損失	0	0	0
③ 他会計への繰越	0	0	0
出版会計繰出額	0	0	0
他会計への繰出	0	0	0
経常費用計	58,811,071	60,140,994	-1,329,923
当期経常増減額	-1,019,578	1,502,390	-2,521,968
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 基本財産売却益	0	0	0
② 固定資産売却益	0	0	0
③ 指定正味財産からの振替	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 基本財産評価損	0	0	0
② 固定資産売却損	0	0	0
③ 災害損失	0	0	0
④ 雑損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,019,578	1,502,390	-2,521,968
一般正味財産期首残高	57,282,417	54,904,590	2,377,827
一般正味財産期末残高	56,262,839	56,406,980	-144,141
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	0	0	0
② 受取負担金	0	0	0
③ 受取寄付金	0	0	0
④ 固定資産受贈益	0	0	0
⑤ 基本財産評価益	0	0	0
⑥ 特定資産積立額	0	0	0
⑦ 基本財産評価損	0	0	0
⑧ 特定資産取崩額	0	0	0
⑨ 一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	875,437	-875,437
指定正味財産期末残高	0	875,437	-875,437
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	56,262,839	57,282,417	-1,019,578

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品は原価法により計上している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品は定率法による減価償却を実施している。
ただし、平成23年3月以前に取得したものは定額法により実施している。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金は期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるリース契約はないので通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税は税込処理により処理している。

2. 会計方針の変更

特になし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科	目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産					
定期預金					
郵便貯金		3,550,000		50,000	3,500,000
	小計	3,550,000		50,000	3,500,000
特定資産					
退職給付引当資産		19,126,505	1,071,270	13,022,100	7,175,675
	小計	19,126,505	1,071,270	13,022,100	7,175,675
	合計	22,676,505	1,071,270	13,072,100	10,675,675

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科	目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産					
定期預金		0			
郵便貯金		3,500,000		3,500,000	
	小計	3,500,000		3,500,000	
特定資産					
退職給付引当資産		7,175,675			7,175,675
	小計	7,175,675			7,175,675
	合計	10,675,675		3,500,000	7,175,675

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次の通りである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
パソコン2台	309,456	309,454	2
液晶テレビ	318,400	318,399	1
デジタル一眼レフカメラ	125,800	125,799	1
事業ノートパソコン	104,989	104,988	1
出版デスクトップパソコン	130,830	130,829	1
耐火金庫	288,288	202,997	85,291
移動書庫	505,187	476,678	28,509
カウンター	119,700	119,699	1
経理用パソコン	101,073	101,072	1
SDビデオカメラ(HP 動画)	397,000	396,999	1
Appleソフト(HP 動画)	108,780	108,779	1
ProductionPremium	235,180	235,179	1
ApplePC(HP 動画)	260,880	260,879	1
会員証カードプリンタ	432,915	432,914	1
顕彰事業用ノートパソコン	106,001	106,000	1
事務局パソコン設置工事	494,550	494,549	1
カードプリンタ	388,800	388,799	1
事務用ノートパソコン	214,940	214,939	1
総務用ノートパソコン	234,348	178,202	56,146
経理用ノートパソコン	178,420	135,673	42,747
事務局用ノートパソコン	189,970	102,900	87,070
出版用ノートパソコン	215,710	112,348	103,362
会員管理システム	351,054	216,480	134,574
合 計	5,812,271	5,274,555	537,716

財 産 目 録
令和 6 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	決算日手元有高	502,245	
普 通 預 金	みずほ銀行丸之内支店 1832469	26,711,311	
普 通 預 金	三菱東京UFJ銀行日本橋中央支店 4794069	2,425,030	
振 替 貯 金	ゆうちょ銀行00160-9-193692	16,212,636	
特別積立預金	三菱UFJ信託銀行本店 43186568	200,539	
未 収 会 費	普通会員(法人)費	1,665,000	
未 収 入 金	雑誌手帳広告料他	642,900	
立 替 金	支部費	409,826	
商 品	棚卸出版物	2,456,982	
貯 蔵 品	会員証	214,170	
前 払 費 用	4月分室料、技術賞費	639,920	
流動資産合計			52,080,559
2 固定資産			
(1) 基本財産			
郵 便 貯 金	定額貯金ゆうちょ銀行10120-66533291	3,500,000	
基本財産合計			3,500,000
(2) 特定資産			
退職積立預金	三菱UFJ信託銀行本店43186543	7,175,675	
調査研究預金	通常貯金 ゆうちょ銀行10120-66533291	0	
特定資産合計			7,175,675
(3) その他の固定資産			
什 器 備 品	パソコン2台	2	
什 器 備 品	液晶テレビ	1	
什 器 備 品	デジタル一眼レフカメラ	1	
什 器 備 品	ノートパソコン	1	
什 器 備 品	デスクトップパソコン	1	
什 器 備 品	耐火金庫	85,291	
什 器 備 品	移動書庫	28,509	
什 器 備 品	カウンター	1	
什 器 備 品	経理用パソコン	1	
什 器 備 品	SDビデオカメラ	1	
什 器 備 品	Appleソフト	1	
什 器 備 品	ProductionPremiumソフト	1	
什 器 備 品	Appleパソコン	1	
什 器 備 品	会員証カードプリンタ	1	
什 器 備 品	顕彰事業用ノートパソコン	1	
什 器 備 品	事務局パソコン設置工事	1	
什 器 備 品	カードプリンタ	1	
什 器 備 品	事務用ノートパソコン	1	
什 器 備 品	総務用ノートパソコン	56,146	
什 器 備 品	経理用ノートパソコン	42,747	
什 器 備 品	事務局用ノートパソコン	87,070	
什 器 備 品	出版用ノートパソコン	103,362	
電 話 加入権	2回線	99,300	
敷 金	日本橋ビルディング	6,016,768	
無形固定資産	会員管理システム	134,574	
その他の固定資産合計			6,653,784
固定資産合計			17,329,459
資産合計			69,410,018
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	印刷代、社会保険料、PC代、確定税額他	2,066,995	
前 受 金	個人会費	3,695,750	
預 り 金	源泉所得税、住民税	208,759	
流動負債合計			5,971,504
2 固定負債			
退職給付引当金	職員退職金見積額	7,175,675	
固定負債合計			7,175,675
負債合計			13,147,179
正味財産			56,262,839

監査報告書

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の期間における本法人の財務諸表（貸借対照表・正味財産増減計算書・収支計算書・財産目録）及び業務執行状況につき監査したところ、定款に準拠し合法かつ適正であることを認めます。

令和6年5月20日

一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

監事 中山正久 (印)

監査報告書

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の期間における本法人の財務諸表（貸借対照表・正味財産増減計算書・収支計算書・財産目録）及び業務執行状況につき監査したところ、定款に準拠し合法かつ適正であることを認めます。

令和6年5月20日

一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

監事

志村 晶



第2号議案

令和6年(2024年)度 事業計画(案)

[1] 映画及びテレビジョンの技術に関する調査研究(事業-1)

(1) ISO/TC36 国内協議会

国際標準化機構(ISO)/TC36(映画分野に係る国際規格の制定等専門委員会)国内協議会の事務局を担当。国際規格の制定・改訂・廃止等の審議を行い、その結果を取り纏めて投票。ISO/TC42(写真)とリエゾン関係にある規格の審議に協力。

(2) 規格委員会

映画及びテレビジョンに関わる内外の規格について検討。

[2] 映画及びテレビジョンの技術に関する普及啓発(事業-2)

(1) 各部会による勉強会の開催

「映像プロセス部会」は、第58回特別セミナーを開催し、それに関連した運営委員会を開催する。

「アニメーション部会」は、アニメーション及びVFXの先端技術に関する、第25回特別研究会を開催する。映像技術賞、青い翼大賞審査への協力も行う。

(2) 普及活動

映画、テレビの映像技術、デジタル技術、インターネット配信技術に関する勉強会等を開催し、協会会員相互の交流を図ると共に、新規会員の獲得に繋げる。ホームページにおいては、法人会員・個人会員コーナーを充実させ、WEBサイトを使ったセミナーの動画配信を行う。一方、海外の情報をより早く収集出来るようホームページ上にSMPTEサイトへのリンクを行う。また、個人会員向けに開設した「会員マイページ」により、双方向の情報提供を推進する。これらの活動を通し、技術者がより高度な技術を習得すると共に、業界関係者以外にも広く情報収集が出来る環境を提供し、映像文化の発展と関連ビジネスの活性化を図る。

(3) 各支部の活動

京都支部、大阪支部、中部支部、北海道支部、九州支部、東北支部主催による勉強会を開催し、各地の映像制作関係者がより高度な技術を習得出来る機会を設けると共に、若手クリエイターを対象とした基礎技術セミナーを実施し、各支部活動の活性化に繋げる。

[3] 映画及びテレビジョンの技術に関する出版物の発行(事業-3)

(1) 業界関係者及び一般向けに販売・配布している月刊機関誌「映画テレビ技術」の編集(委員会を毎月開催)と発行。

(2) 業界関係者及び一般大学(映像学科系)、専門学校のカリキュラム資料として活用されている「PROFESSIONAL CINE & TV TECHNICAL MANUAL 2025/2026」(技術手帳)の発行。

(3) その他単行本の販売。

[4] 映画及びテレビジョンの技術に関する研究業績及び技術成果の表彰(事業-4)

(1) MPTE AWARDS 2024

研究業績及び技術成果の表彰活動を76年にわたり行ってきた。本年度は第77回の表彰式(MPTE AWARDS 2024)を経産省が推進する「CoFesta 2024」のイベントとして、東京国際映画祭期間中に行い、映像業界の発展に寄与する。

以下の賞の選定及び表彰を行う。

- (1) 第 77 回技術開発賞
 - (2) 第 77 回映像技術賞
 - (3) 第 42 回青い翼大賞
 - (4) 第 27 回日本映画テレビ技術大賞（経済産業大臣賞）
- (2) 個人賞
「優秀制作技術賞」（柴田賞・鈴木賞）及び「優秀執筆賞」（小倉・佐伯賞）の選定及び表彰を行う。
- (3) 会友推薦
該当者なし。

[5] 本会の目的を達成するための事業（その他）

- (1) 映画産業団体連合会の維持会員として「映画の日」の行事等に協力する。
- (2) 映像関連団体連絡会議に参加し、関連団体との情報交換等を行う。
- (3) 映画産業団体連合会理事会にオブザーバーとして参加、および事務局長連絡会議に参加し情報交換を行う。
- (4) 「映像文化製作者連盟」「日本映画監督協会」「日本映画撮影監督協会」「日本映画・テレビ照明協会」「日本映画・テレビ録音協会」「日本映画・テレビ編集協会」「日本映画・テレビ美術監督協会」「テレビ日本美術家協会」「全日本テレビ番組製作社連盟」「日本ポストプロダクション協会」「日本アド・コンテンツ制作協会」「日本エレクトロニクスショー協会」「ユニジャパン」「映像産業振興機構」等、各団体との相互協力を行う。
- (5) 会員証による映画館割引入場地域のさらなる拡充。
- (6) 日本アカデミー賞、東京国際映画祭、東京シネマショー等の運営に協力。

以上

収 支 予 算 書 総 括 表 (案)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	法人会計	総 合 計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産収入	(0)	(500)	(500)
特定資産利息収入	(0)	(500)	(500)
入会金収入	(0)	(140,000)	(140,000)
会費収入	(21,245,000)	(21,245,000)	(42,490,000)
普通会員(法人)会員費	15,540,000	15,540,000	31,080,000
普通会員(個人)会員費	4,855,000	4,855,000	9,710,000
臨時会費	850,000	850,000	1,700,000
事業収入	(12,780,000)	(600,000)	(13,380,000)
調査研究事業収入	0	0	0
セミナー事業収入	750,000	0	750,000
部会事業収入	150,000	0	150,000
審査運営費収入	1,510,000	0	1,510,000
会員証発行収入	0	600,000	600,000
その他事業収入	140,000	0	140,000
広告収入	9,080,000	0	9,080,000
出版販売収入	1,150,000	0	1,150,000
雑収入	(0)	(1,000)	(1,000)
受取利息収入	0	500	500
雑収入	0	500	500
事業活動収入計	34,025,000	21,987,000	56,012,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	(15,829,000)	(0)	(15,829,000)
調査研究事業費支出	50,000	0	50,000
セミナー事業費支出	510,000	0	510,000
その他事業費支出	110,000	0	110,000
各部会費支出	880,000	0	880,000
技術賞費支出	1,510,000	0	1,510,000
基金表彰費支出	85,000	0	85,000
その他の表彰費支出	15,000	0	15,000
普及事業費支出	2,235,000	0	2,235,000
印刷製版費支出	6,250,000	0	6,250,000
原稿料支出	700,000	0	700,000
編集費支出	60,000	0	60,000
発送他雑費支出	2,344,000	0	2,344,000
単行本製作費支出	1,080,000	0	1,080,000
管理費支出	(25,856,896)	(14,039,104)	(39,896,000)
人件費支出	17,807,120	9,337,880	27,145,000
会議費	0	150,000	150,000
消耗備品費支出	78,720	41,280	120,000
会員証発行費支出	0	330,000	330,000
事務費支出	7,971,056	4,179,944	12,151,000
事業活動支出計	41,685,896	14,039,104	55,725,000
事業活動収支差額	▲ 7,660,896	7,947,896	287,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	(0)	(100,000)	(100,000)
特定資産取崩収入	(0)	(0)	(0)
敷金・長期前払費用戻収入	(0)	(0)	(0)
投資活動収入計	0	100,000	100,000
2. 投資活動支出			
退職給付引当資産取得支出	(0)	(617,000)	(617,000)
調査研究引当資産取得支出	(0)	(0)	(0)
システム購入支出	(0)	(0)	(0)
投資活動支出計	0	617,000	617,000
投資活動収支差額	0	▲ 517,000	▲ 517,000
III 予備費支出			
予備費支出	0	0	0
当期収支差額	▲ 7,660,896	7,430,896	▲ 230,000
前期繰越収支差額	—	—	43,000,000
次期繰越収支差額	—	—	42,770,000

第3号議案

令和6～7年度（2024～2025年度）代議員 選挙管理委員会報告

開票日：2024年4月22日（月）

開票確認：島岡 唯信（委員長）

投票総数：738票

各候補者票数（（）内は不信任票）

【本部地区 定員13名】

阿部 智昭	737(-1)票	(株)TBSアクト 執行役員 ENG本部 本部長
石井 秀明	737(-1)票	フリーランス・録音/音声エンジニア
大友 武夫	737(-1)票	(株)オオトモエンジニアリング 技術部
桂川 英樹	737(-1)票	(株)テイクシステムズ 総務本部担当 取締役
塩部 宏	737(-1)票	(株)ビデオサービス 営業本部 本部長
澁谷 誠一	737(-1)票	(株)日テレ・テクニカル・リソーシズ 制作技術センター制作技術部 専任部長
鈴木 仁行	737(-1)票	レスパスビジョン(株) 代表取締役
中須 岳士	737(-1)票	(株)style玄庵 代表取締役社長
成田 裕介	737(-1)票	(協)日本映画監督協会 理事
林 伸彦	737(-1)票	(株)NHKアート 総合美術センター デジタル・グラフィック部 エグゼクティブプロデューサー
細田 淳一	737(-1)票	(株)東北新社 クリエイティブセンター 撮影機材技術部 部長代理 兼 技術課 課長
馬渡 貴志	737(-1)票	(有)東京パフォーマンスデジタル 代表取締役
宮田 澄隆	737(-1)票	(株)フジテレビジョン ニュース総局 LIVE STUDIO 撮影中継取材部

【大阪支部 2名】

勝間 敦	737(-1)票	朝日放送テレビ(株) 技術局制作技術部 担当部長
山本 秀一	737(-1)票	(株)IMAGICALab. CMプロダクション事業部ウエストプロデュースグループ

【中部支部 1名】

岩井 彰彦	737(-1)票	東海テレビ放送(株) 報道局
-------	----------	----------------

【北海道支部 1名】

佐野 哲也	737(-1)票	(株)HBCフレックス 撮影部エグゼクティブ統括主幹
-------	----------	----------------------------

【九州支部 1名】

谷口 浩司	737(-1)票	(株)福岡放送 技術局制作技術部 部長
-------	----------	---------------------

【東北支部 1名】

小田中浩一	737(-1)票	(株)ミヤギテレビサービス 技術部 部長
-------	----------	----------------------

第4号議案

役員選出の件

令和6年～令和9年度（2024年～2027年度）任期 監事

近藤 誠二* 東映ラボ・テック(株) 代表取締役社長

令和6年～令和7年度（2024年～2025年度）任期 理事

〔本部地区理事候補者14名〕

会田 正裕 (株)アップサイド 代表取締役社長

五十嵐公彦* (株)テレビ東京 テック運営局コンテンツ技術センター チーフ・テクニカル・プロデューサー

梅林 巖 アストロデザイン(株) 映像事業部 営業部長

黒木 貴博* 日本テレビ放送網(株) 技術統括局制作技術部 リードスペシャリスト

齊藤 文彦* 日本放送協会 メディア技術局コンテンツテクノロジーセンター TP チーフ・リード

高林 正彦* (株)テレビ朝日 技術局 技術局次長

西川 寛* (株)フジテレビジョン 技術局 局次長

堀内 大示* (株)角川大映スタジオ 代表取締役社長

堀之丸乃弘 (株)朋栄 常務取締役

増田 治宏 日本大学 芸術学部映画学科 教授

松本 智 日活(株) 撮影所事業部 部長

三木 圭輔* (株)TBSテレビ メディアテクノロジー局技術管理部長

港 浩一* (株)フジテレビジョン 代表取締役社長

脇 昌弘* ネットアップ合同会社 パートナーアライアンス統括本部 DXセンター長/APAC AI事業開発リード

〔大阪支部理事候補者2名〕

加藤 覚 日本放送協会 大阪放送局 コンテンツセンター第2部 シニア・リード

皆見 清昭 テレビ大阪(株) 技術局 局長

注) *印は新任